

自然条件と人々の暮らし① (教科書 28~45 ページ)

氏名()

①教科書（28～31 ページなど）や地図帳を見て、あたたかい地域と寒い地域、標高の高い地域と低い地域では、人々のくらしや産業がどのようにちがうか、考えてみましょう。

	人々のくらし	産業
あたたかい 沖縄県		
寒い北海道		

	人々のくらし	産業
標高の高い のべやまはら 野辺山原 みなみまき （南牧村）		
標高の低い さわら 佐原北部 かとり （香取市）		

②あたたかい気候の沖縄ではどうして観光がさかんになったのでしょうか。教科書 32・33 ページを読み、自然・文化・行事それぞれの理由を答えましょう。

自然	
文化	
行事	

③観光がさかんになった沖縄では、どのような問題が起こっていますか。

自然条件と人々の暮らし② (教科書 28～45 ページ)

氏名()

①あたたかい沖縄県ではどのような産業がさかんでしょうか。教科書 34・35 ページを読みながら、答えましょう。

農 業	
漁 業	

②沖縄の農業で心配なことは何でしょうか。

③沖縄県の人々は、暑さや台風などにそなえて、どのようなことをしているでしょう。教科書 36・37 ページを読みながら、答えましょう。

農 業	
人 々 の く ら し	

④沖縄県にある広い軍用地について答えましょう。

○沖縄県は80年ほど前に戦争によって大きな被害を受けた。戦争が終わると、
沖縄県は に占領された。その後日本に返されたが、
今でも県内には の広い軍用地が残っている。

⑤学習した感想を書きましょう。

自然条件と人々の暮らし③ (教科書 28～45 ページ)

氏名()

①高地にある野辺山原ではどのような産業がさかんでしょうか。教科書 38～44 ページを読みながら、答えましょう。

農業	
酪農	
観光	

②野辺山原の人々は、高地の自然条件の中でくらすために、どのようなことをしてきたのだろう。教科書 43・44 ページを読みながら、答えましょう。



③沖縄県と野辺山原の二つの地域に共通していることは何でしょうか。「自然条件」という言葉を入れてまとめましょう。



自然条件と人々の暮らし①（教科書 28～45 ページ） **解答**

氏名（ ）

①教科書（28～31 ページなど）や地図帳を見て、あたたかい地域と寒い地域、標高の高い地域と低い地域では、人々の暮らしや産業がどのようにちがうか、考えてみましょう。

	人々の暮らし	産業
あたたかい 沖縄県	自分の考えを書きましょう	自分の考えを書きましょう
寒い北海道	自分の考えを書きましょう	自分の考えを書きましょう

	人々の暮らし	産業
標高の高い のべやまはら 野辺山原 みなみまき (南牧村)	自分の考えを書きましょう	自分の考えを書きましょう
標高の低い さわら 佐原北部 かとり (香取市)	自分の考えを書きましょう	自分の考えを書きましょう

②あたたかい気候の沖縄ではどうして観光がさかんになったのでしょうか。教科書 32・33 ページを読み、自然・文化・行事それぞれの理由を答えましょう。

自然	(例) さんご礁 しょう に囲まれた美しい海が広がっている。
文化	(例) エイサーなどのおどりや、沖縄でとれる農産物や水産物を使った料理など、独自の文化 どくじ にふれることができる。
行事	(例) 冬でも楽しめる桜まつりや、音楽や映画、スポーツなどの行事が多く開かれる。

③観光がさかんになった沖縄では、どのような問題が起こっていますか。

- ・街なみや道路などの開発が進むことで、土が流れ出して海がよごれた。
 - ・海のよごれや海水温が上がったことで、さんごはくかの白化現象げんしょうが起こった。

自然条件と人々の暮らし② (教科書 28～45 ページ) **解答**
氏名()

①あたたかい沖縄県ではどのような産業がさかんでしょうか。教科書 34・35 ページを読みながら、答えましょう。

農 業	・ 高い気温や高い湿度でよく育つ、さとうきびの生産がさかん。 ・ マンゴーやパイナップルなど、^{なんごく}南国の果物の生産もさかん。 ・ 他の地域では気温が下がって生産しにくくなる冬に、きくの花を全国に^{しゅっ か}出荷している。
漁 業	・ あたたかくきれいな海でよく育つ、もずくの生産がさかん。 ・ あたたかい海流の通り道なので、まぐろやかじきなどのよい漁場になっている。

②沖縄の農業で心配なことは何でしょうか。

強い台風が通ると、作物がたおれてだめになることがある。

③沖縄県の人々は、暑さや台風などにそなえて、どのようなことをしているでしょうか。教科書 36・37 ページを読みながら、答えましょう。

農 業	・ 台風でこわれないように、ビニールハウスを平たい形にしたり、鉄のほね組みにしたりする。 ・ 台風が^す過ぎたあとは、早めに水をまき、農産物についた海水の塩分をあらい流す。
人 々 の く ら し	・ 夏の暑さや^{しっ け}湿気をしのぐために、家の戸やまどを大きくして、風通しをよくする。 ・ 昔の家は、周りを石垣や木で囲んだり、屋根のかわらを白いしっくいであてている。 ・ 今の家は、コンクリートづくりが多い。 ・ 夏は日ざしが強いいため、外に出るときはぼうしをかぶる。海水浴場でも、水着の上からシャツを着る。

④沖縄県にある広い軍用地について答えましょう。

○沖縄県は80年ほど前に戦争によって大きな被害^{ひがい}を受けた。戦争が終わると、沖縄県は **アメリカ** に^{せんりょう}占領された。その後日本に返されたが、
今でも県内には **アメリカ** の広い軍用地が残っている。

⑤学習した感想を書きましょう。

自分の考えを書きましょう

自然条件と人々の暮らし③ (教科書 28～45 ページ) 解答

)

①高地にある野辺山原ではどのような産業がさかんでしょうか。教科書 38～44 ページを読みながら、答えましょう。

農業	夏でもすずしいので、暑さに弱いレタスやはくさいを、他の地域では生産しにくい夏の時期に出荷している。すずしい朝早くに ^{しゅうかく} 収穫して、低温で運べるトラックにのせ、 ^{しんせん} 新鮮なままとどけている。
酪農	暑さに弱い牛を育てて牛乳をとり、ヨーグルトやチーズなどの乳製品に加工して出荷している。
観光	夏のすずしい気候を生かした牛の乳しぼり体験や、冬の寒さを生かした氷を使ったイベントなどを行っている。

②野辺山原の人々は、高地の自然条件の中でくらすために、どのようなことをしてきたのだろう。教科書 43・44 ページを読みながら、答えましょう。

- ・ 多くの方が協力して、石や根をほり起こし、土地の開拓を進めた。
- ・ 寒さに強いだんごんやそばを育てていたが、連作障害の被害が広がったため、はくさいやレタスなどの高原野菜の生産を増やしていった。
- ・ 火山灰でできたあれた土地に、牛のふんを混ぜるなどして、栄養のある土に変えていった。

③沖縄県と野辺山原の二つの地域に共通していることは何でしょうか。「自然条件」という言葉を入れてまとめましょう。

- ・ 沖縄県は気温が高く、野辺山原は気温が低い。それぞれの自然条件を生かして、他の地域では育てにくい作物を生産したり、観光客を増やしたりしている。
- ・ 沖縄県や野辺山原の人々は、きびしい自然条件を乗り越えるために、工夫や努力をしてきた。

など